


1 調査問題 6 (必要な情報を読み取る問題)

(1) 課題が見られた問題について

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題です。メールから読み取った情報を基にイベントを選ぶ際に、複数の情報が含まれる文章から必要な情報を読み取ることによりかなり課題があります。正答である3を選択した生徒と誤答である4を選択した生徒がほぼ同じ割合でした。これは、日付や時間に関する条件を正しく読み取れていない、もしくは、dinner という情報と“Cook & Eat”というタイトルを結び付けてしまったことが理由として考えられます。

(メール文抜粋) I will arrive on Saturday afternoon.  
I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

**3 City Orchestra**

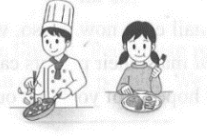


You can enjoy a wonderful performance!

Date & Time  
Sunday, April 16  
1:00 p.m. - 3:00 p.m.

Place  
Tsubomi Hall

**4 "Cook & Eat"**



Let's enjoy cooking and eating!

Date & Time  
Sunday, April 16  
4:00 p.m. - 7:00 p.m.

Place  
Cooking Room "Wakaba"

(2) 指導の改善・充実に向けて

出題の意図に沿った学力をつけるためには、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるかを判断したうえで読み取ることが重要です。授業では、学習指導要領に示されているように、「日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動」を意図的に行っていくことが必要です。

2 調査問題 10 (まとまりのある文章を書く問題)

(1) 課題が見られた問題について

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題です。単純な比較はできませんが、松本市における前回と同様の趣旨の問題の結果と比べると、正答率が前回に比べやや上がっていることから、まとまりのある文章を書くことについて指導の改善が図られつつあると考えられます。

しかし、まとまりのある文章を書くことに関しては、依然、かなり課題があり、「コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項の誤りがある解答」や「話題が次々と変わったり、文と文との関係において適切さを欠いていたりするなど、内容に一貫性が見られない解答」も多く見られました。また、無回答の生徒が約2割いることも課題です。

基本的な語や文法事項等を理解し、それらを活用して文章を書くことや、文章構成を意識し

**10** あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。  
 <<正答の条件>>  
 ① 学校生活（行事や部活動など）の中から1つ取り上げている。  
 ② 紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。  
 ③ 25語以上の英語で書いている。

**【正答にならなかった解答例①】**  
 コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるものの例  
 We school have a sports festival. It is held in October. Also, It is so excited and tired, but I think that great memory in the junior high school life.

**【正答にならなかった解答例②】**  
 一貫性のある文章で書かれていないものの例  
 ・I'm in the basketball team. I practice very hard with my friend. But I was fun. We have to win the next game. Basketball is interesting.

ながら書くことに課題があると考えられます。

## (2) 指導の改善・充実に向けて

テーマについて書く内容を想起できるようにすることや、伝えたい内容を読み手に正しく伝えるために、語や文法事項等を理解し、それらを活用して文章を書くことができるように指導することが必要です。更に説明文を書く際には「主題とその具体例」、意見文を書く際には「もっとも伝えたいこととその理由」など、目的に応じた文章構成を用いて書くことができるように指導することも大切です。

教科書の Mini Activity や Unit Activity を、各単元の基本的な語や文法事項を理解して文章を書く機会とし、それを積み重ねて Stage Activity でまとまった文章を書いて発表する機会にするというサイクルを明確にして、計画的に書く力を高めていく指導が必要です。その際に、書き表したものをペアやグループで読み合い、言語面での気づきを共有したり、内容や構成、表現方法について質問したり、コメントを述べたりし、その内容を参考に推敲するなど、生徒が主体的に取り組める学習形態の工夫が必要です。

### 3 調査問題 ① (話すこと)

#### (1) 課題が見られた問題について

動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える問題です。日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面で活用できる技能を身に付けている必要があります。本設問では、ゾウの誕生日について“When is his birthday?”と直接尋ねられているのではなく、自然なやりとりが展開されている中で、看板に書いてある情報について“What does this say?”と尋ねられていることに解答する必要があります。

正答にならなかった解答例からもわかるように、定型表現や文法事項自体に誤りがある生徒は少ないものの、スクリプトにある内容の流れを捉えきれていなかったと思われる生徒が多く、相手が知りたいと考えている情報が不足していたり、相手が求めている情報が何かを理解していなかったりなど、目的・場面に応じて適切な情報を伝えられていないものが多くみられました。2 問目以降は答える内容が明確であり、無解答率は 1 問目よりも低い状況です。そのことから、定型表現のやりとりのみでなく、場面や状況に応じて相手の意向を意識した上での情報のやりとりはかなり課題があると考えられます。

#### (2) 指導の改善・充実に向けて

一問一答の事実発問だけでなく、どの情報をどのように伝えるかといった場面を考え、言語活動につなげていく必要があります。定型表現をやりとりする練習に加え、日付、曜日といった基本的な表現を「情報」に置き換え、どのような場面で「日付」「曜日」を伝える必要があるのかといった状況の中で生徒たちがやりとりをしていくことが大切です。今回のように、相手にとって「わからない」「知りたい」情報は何かという視点を取り入れ、どのように伝えるかといったことを ICT 機器も用いながら、生徒同士が共有し、自分たち自身で見直したり考えたりする機会を増やしていけるとよいでしょう。

(1)

(スクリプト)  
A baby elephant. How cute. ... I can read some Japanese. Its name is Taro...it's a boy...and, what does this say?

#### 【正答例】

His birthday is March first.

#### 【正答にならなかった解答例①】

看板の情報について誕生日であることとその日付の情報のうちいずれかが不足している例

Birthday / It's March first.

#### 【正答にならなかった解答例②】

相手からの質問を理解できていない、または基本的な語や文法事項などの知識が身に付いていないと考えられる例

His name is Taro. / Three one.